

RECRUITMENT INFORMATION



採用担当者 問い合わせ先

厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部 企画・検疫課
検疫所管理室 人事班 人事・給与係

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2

TEL: 【代表】03-5253-1111(内線 2466) 【直通】03-3595-2333

<https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/keneki.html>

検疫官 看護師



検疫所イメージキャラクター
「クアラン」



厚生労働省

検疫官〔看護師〕採用案内

Recruitment information



感染症の拡大を防ぐ。 これが、わたしの使命。



世界の国々は空や海でつながっており、今や人や物がとめどなく行き交っています。
日本もグローバル化が進み、世界的な活動や流通も衰えを知りません。
しかしながら、世界に開かれれば開かれるほど、感染症が国内に流入する恐れがあることも事実。
その感染症の流入を日本の水際で可能な限りせき止めることが、検疫の使命。
国内の健康安全は、検疫官一人ひとりの手に掛かっています。
日本の未来を握る、誇り高き検疫官。あなたの挑戦が日本を守る一歩となります。

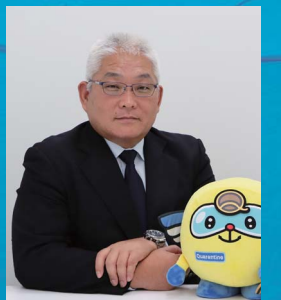
TO THE NEXT STEP

海や空の玄関口である検疫

検疫は国際線のある空港や国際船舶が停泊する海港を中心に日本全国津々浦々に存在し、世界とつながる海や空の玄関口となっています。
北は北海道、南は沖縄まで13検疫所本所に連なる支所・出張所で構成されています。
プライベート線などで、検疫所が常駐しない地に航空機や船舶が来た際には、その地まで足を運び、検疫を行う場合もあります。

使命感が輝く、看護の新しい舞台へ

検疫所は、国内に常在しない感染症が海外から侵入することを防ぐという役割を担っています。
現在、検疫所では200人を超える看護師が高い専門性と使命感を持って、全国の空港や海港で日々業務に取り組んでいます。
臨床で培った観察力や高いコミュニケーション能力等を駆使して、病院とはまたひと味違う環境で様々な経験、スキルアップをしたいという方には最適な職場です。
広く国民の健康を守るという使命のために、その力を発揮してみませんか。
皆様のチャレンジをお待ちしています。



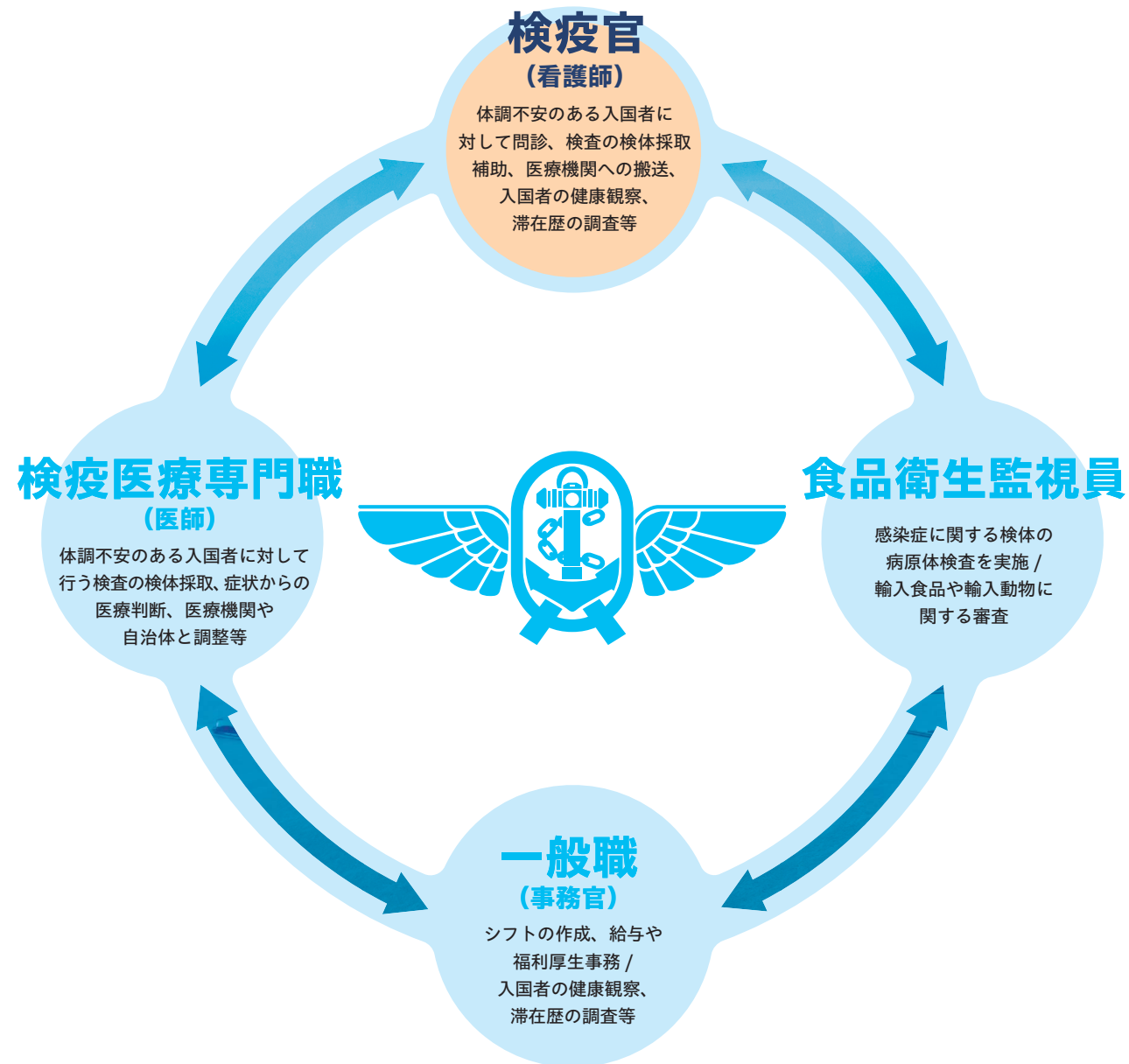
健康・生活衛生局
感染症対策部企画・検疫課
検疫所管理室長

吉岡 明男

ALIGNMENT

様々な職種との連携

検疫官と称される私たちが検疫業務を担っています。
ひとえに検疫官と言っても、その職種は一つではなく、看護職の他に
医療職・一般職（事務官）も検疫官として勤務しています。
また、検疫所には、食品衛生監視員という職種も存在し、様々な職種が
相互に関わり合いながら業務を行っています。



検疫官としての業務は、職種によって明確に線引きされておらず、
時として同じ業務を行い、どの検疫官も協力して業務を行っています。

WORK PLACE

空港勤務



空の玄関口である空港での主な業務

海外から日本への入国に航空機の利用が主要となっています。
空港勤務では、航空機を利用した入国者に対して、感染症にかかっていないかという検疫を実施しています。
国際線のフライトスケジュールに合わせ、交替制のシフト勤務により体制を組んでおります。
そして、海外から来航した航空機より、感染症が持ち込まれないよう、空港の政令区域内や航空機内の衛生調査・媒介動物の調査もしています。

港勤務



海の玄関口である海港での主な業務

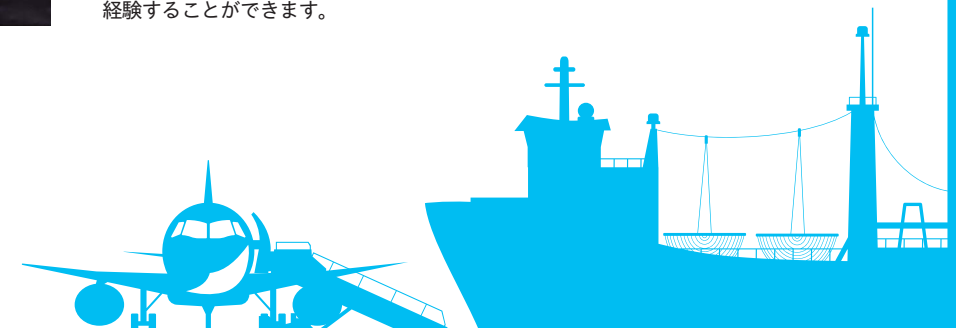
全国の検疫所では、感染予防として海外渡航前の黄熱ワクチンの接種を担っています。また、人々の日本への入国は航空機だけでなく、船舶も手段としてあります。検疫所は、日本に來航する前の船舶に申請を求め、場合によっては停泊した船舶へ出向き、乗客と船員に対し健康確認を行います。人に対する検疫だけでなく、船舶そのものに対しても、感染症を拡大させぬよう衛生検査等を行っています。衛生検査は船長（申請者）に対して必要書類を求め、実際に船舶内に立ち入って行います。また、病原体を保有したねずみ族や蚊族が船舶を介して日本に侵入する恐れがあるため、海港の政令区域での媒介動物の調査を行っています。



厚生労働省本省勤務

政策に携わる管理中核的な役割

検疫所から出向し、厚生労働省本省へ着任することがあります。
検疫所では、検疫業務に関わる方一人ひとりに直接制度を施す一方、本省では国民の皆様とは間接的な立場でありながら影響力の大きい日本の政策や制度そのものについて携わることができます。他省庁や各地方自治体との連絡調整も多い点が特徴的です。全国の検疫所の管理をするポストの他、幅広く人々の健康に携わるポストなど、存在するポストは多岐に渡っており、検疫所とはまた違った業務を経験することができます。





WORK:1

検疫業務

QUARANTINE

海外からの感染症の流入を阻止する検疫業務

検疫所では、日本に入国（帰国）する全ての人に対して、検疫を行っています。

症状がある人、体調や健康に不安のある人を健康相談室へ誘導し、その症状や滞在した国が感染症の流行国かどうか等を確認します。また、必要に応じて検査を実施し、その結果に応じて、医療機関への搬送や隔離・停留・消毒等の防疫措置を講じます。

WORK OVERVIEW



検査検体の扱いや有症状者の対応

検疫感染症に感染している疑いがある場合には、必要に応じて検査を実施します。看護師は検体採取の補助を行ったり、採取した検体を関係各署に搬送する作業を行います。検査の結果、感染症に感染していると確認された場合には、医師の指示の下、待機や隔離の対応を行ったり、医療機関等への搬送を行います。



入国者や出国者に対する感染予防対策

検疫では出国者に対しても感染予防対策を行っています。空港や海港の出国ブースに相談カウンターを設け、渡航に関する相談を受けています。感染症等の世界情勢に併せ、出国者に対して海外で注意すべき感染症の案内等を行うのも業務の一環です。検疫所では、渡航者に対して黄熱の予防接種を検疫で行っているため、その相談や接種の補助も行っています。



WORK:2

衛生業務

HYGIENE

感染症の蔓延を防止する衛生業務

検疫所が行う感染症対策は、人に対する検疫だけではなく、

海外から来航した船舶そのものや航空機を介して、感染症媒介生物が感染症を日本へ持ち込む可能性があります。生物を調査して病原体の侵入や定着の状況を監視することや、船舶の衛生状態を検査することで、感染症が国内に蔓延することを防止しているのが衛生業務です。

WORK OVERVIEW



蚊族・ねずみ族の調査

感染症や病原体を保有している蚊族・ねずみ族の侵入や定着状況を監視するため、船舶や航空機、海港や空港の政令区域で、蚊族を採取したり、ネズミ族を捕獲したりしています。その後、食品衛生監視員らの検査によって病原体保有の有無について確認されます。



船舶衛生検査

国際航行する船舶が、感染症拡大の起因となることがあります。そういった船舶に対して、ねずみや虫類等の発生有無、廃棄物等の適正管理等といった公衆衛生上の事項について確認を行い、船舶の衛生状態に応じて船舶衛生管理証明書の交付や衛生状態の改善措置等を実施しています。

WORKFLOW

夜勤ありの場合

一日の流れ [空港勤務]



AM 11:00 出勤。勤務明けの職員から申し送りを受けるよ。



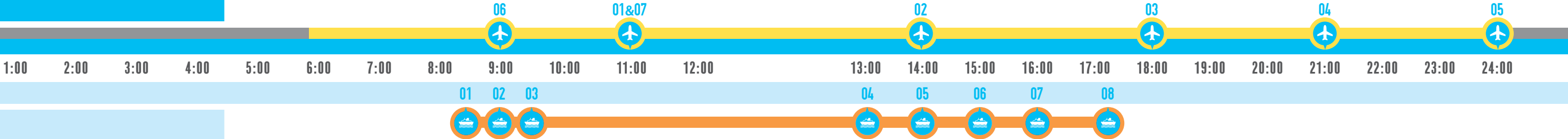
PM 14:00 お昼休憩の後は到着便対応、体温チェック中。



PM 18:00 夜休憩。どさくさに紛れて後輩のおかずを盗むなー！



PM 21:00 有症者対応中。これから検査を実施するよ。



AM 8:30 出勤。事務連絡や問い合わせ等のメールチェック。



AM 9:00 朝会。連絡事項を所内で共有。



AM 9:30 港湾衛生調査。石垣ではまだまだ蚊が捕獲されるなあ。



PM 13:00 クルーズ客船の着岸検疫。(乗船)



PM 14:00 ～船内検疫～発熱者、気分の悪そうな乗客はなし！



PM 15:00 船内で体調不良者もなく、検疫が無事終了し下船。帰庁。



PM 16:00 書類整理をしてから所内回覧。



PM 17:15 退勤。明日は休みだ！

ある一週間のスケジュール



AM 0:00 仮眠時間。おやすみなさーい♪



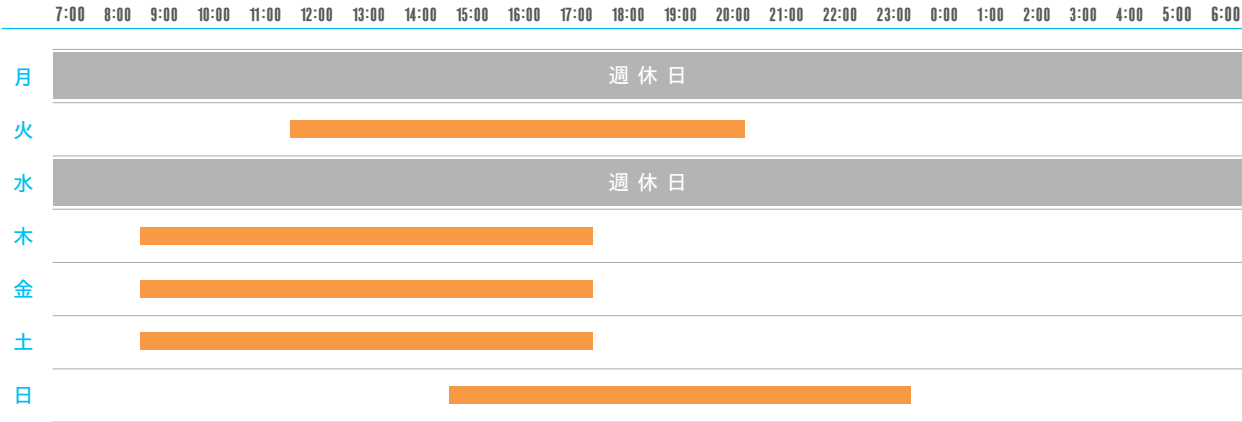
AM 9:00 係業務の会議中。感染対策について話し合っているよ。



AM 11:00 あと少しで退勤！帰ったらたくさん食べよう♪



ある一週間のスケジュール



WORKFLOW

日勤の場合

一日の流れ [港勤務]



MESSAGE

梅本 真衣

関西空港検疫所検疫課 看護師



シフト勤務ならではのメリットも。長期の休暇で行く海外旅行がご褒美！

シフト勤務なので不定休で、さらに泊まりで勤務をしなくてはいけませんが、平日に休みがあったり、勤務明けで少し寝たらお昼過ぎから行動ができたりするので自由時間が多く感じます。気合いを入れれば勤務明けでそのまま飛行機に乗って旅行に行くことができるのも空港勤務の魅力です。長期休暇で海外旅行に行くことが毎年の楽しみです。

MESSAGE

鍵田 忠俊

那覇検疫所 石垣出張所 看護師



検疫業務（船舶・航空機）、港湾衛生調査など幅広い経験が積める職場環境。

シフト勤務のため、スケジュールに合わせて集中して勤務をし、海外旅行等でまとめて休みを取得しやすい柔軟な働き方ができる職場環境です。今年は、夏季休暇と特別休暇を合わせて自転車で台湾を一周することができました。

常に考え、行動する。

STEP UP #1



広島検疫所松山出張所 看護師

岡本 洋輔

愛媛県全域の空港・海港において、検疫衛生業務を担当しています。船舶検疫では体調不良の方がいた場合、検疫に必要な物品を背負って船舶に乗り込み、乗組員の健康状態確認や検体採取等を行います。近年では松山空港の国際線も増加しており、飛行機で入国する方への検疫業務や健康相談、感染症情報提供業務も行っています。また、検疫所は船の衛生状態を検査する業務も行っているため、国際的なルールや基準に基づきながら検査業務を行っています。

MESSAGE

病院とは一味違う機会と学びがある場所

福岡空港支所から松山出張所に異動して間もなく、松山空港が国際線運航再開に向けて動き始めることとなり、看護師である自分も、自治体や空港関係者の方々と直接やり取りをする機会が多くなりました。検疫や感染症の用語や感覚は医療業界の方々でも分かりにくいものも多く、加えて、航空機や船舶関係の用語や行政用語、法律、他の行政機関との関係性なども理解する必要があります。自学自習だけでは限界があります。そういった時に行政職の事務官やその分野の専門職など、頼れる同僚がいることはとても心強いです。一方で医療に対する知識も幅広く求められる職場ですので、看護師経験のある検疫官が、検疫の現場でも医療に関する専門用語や仕組みをかみ砕いて説明したり、補足していくことは、検疫所と相手側の双方が理解を進める上でとても大切な役割だと感じました。

一人ひとり違う、あなたの看護師経験が輝く場所

入職した当時は、自分専用のパソコンや机があったり、航空機の中に入ることになったりと、病院や施設とは何もかもが違う環境でした。また、異動により大都市と地方で、空港・海港の業務をそれぞれ経験しましたが、配属される職場によって業務内容も異なる部分があり、分からないことだらけで戸惑うことも多かったですが、しかし、検疫所には豊富な経験をもつ先輩や同僚の方々がたくさんおり、その方々に支えられてここまで成長することができました。私がこれまで、医療・介護現場や海外渡航で学んだり、感じた技術や経験が役立つように、皆さん一人ひとりがこれまでの看護師経験で培われた多彩な経験が、色々な場所で輝く職場だと思います。入職後は検疫所だけでなく、感染研や人事院が主催する研修など、各種様々な研修を受講することができるためスキルアップもできる環境だと感じています。看護職の方が空港や海港で働くことができる特別な職場でもあるので、興味を持っていただけたら、まずは一歩踏み出して欲しいです。



変化を楽しみながら、キャリアアップを！

STEP UP #2



東京検疫所羽田空港検疫所支所 主任看護師

山元 温子

日本の空の玄関口の一つである羽田空港において、海外から日本へ入国・帰国する際、体調が優れない方に対して、健康相談や必要な検査を行い、検疫感染症の国内侵入を防止しています。また、渡航先の感染症情報について、出国時の渡航前相談を行っています。さらに、主任看護師として若手職員の相談役となり、業務改善や人材育成の役割も担っています。



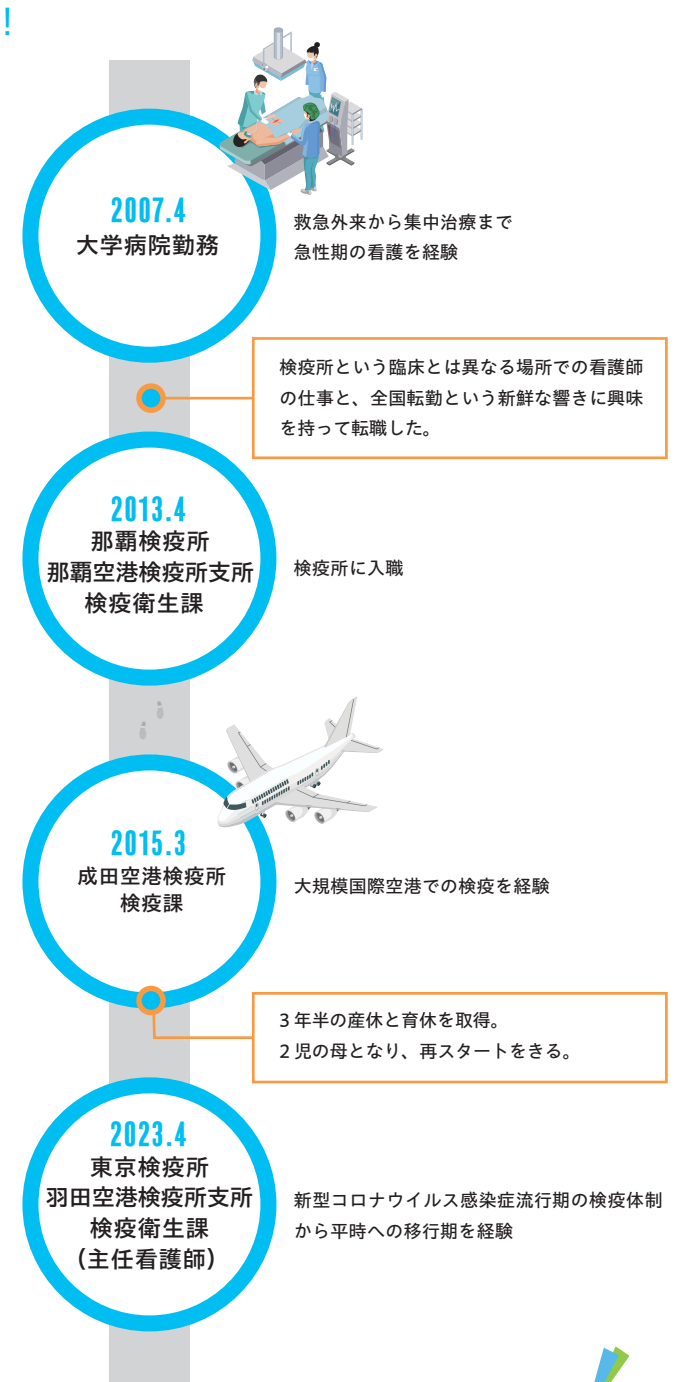
MESSAGE

上司、同僚、家族に支えられて

検疫所は、これまで出産・子育てを経験した先輩たちにより、働きやすいシフトが作られており、職員同士の気遣いもあり、子育てと仕事を両立するのに心強い環境が整っています。それでも、復職時は24時間勤務を再開し、夫と子供たちに負担をかけ、子育てしながらの日常生活リズムの調整に不安を持ちながらの再スタートでした。家族の支えはもちろんのこと、先輩たちのフォローと、同じ境遇の同僚の存在、周囲の同僚たちの理解と協力があつたことにより、仕事が継続できていることに感謝しています。

育児休業後も活躍できる職場

出産後の復職は、コロナウイルス感染症の水際対策強化が行われている最中でした。育児休業前とは激変した環境と業務内容・量に心身ともに疲労困憊のスタートでした。3年半のブランクから、職場での存在価値を見いだせないという焦りも疲労の原因だったように思います。最初の1年は、同僚の頭張りを励みに日々を乗り越え、2年目には平時の検疫体制への移行期に入り、コロナ禍前の検疫を知る職員として頼られる事が増えてきたことで職場での自分の立ち位置を再確認し、また活躍できるという自信を持てるようになりました。子育て中であることの理解を得られ、仕事の成果を評価してくれる職場です。そんな職場で皆さんも働いてみませんか？



目指せ！グローバルな視点をもったハイパーナース！

STEP UP #3



名古屋検疫所 検疫衛生課検疫係長

高橋 永知

名古屋検疫所において、名古屋港・衣浦港・三河／福江港に入港する船舶の検疫業務を行っています。また、県営名古屋空港および小牧基地における航空機検疫も行っています。

役職者となる前までは、自身で考え、実行・評価するというスタンスで業務に臨んでいた。役職者となって以降は、後輩やその他の職員が自ら考え、実行・評価できる機会や環境を構築することに重きを置くようになった。

自身でも船舶に関わる知識が不足していると感じており、船舶を対象とした業務に従事したいと考えていた。また、船舶での業務は語学を活用できる業務も多く、これまでの経験や知識を活かせるという面でもやりがいを感じている。



2008.3
看護学校卒業

語学を活かした仕事に興味があり、青年海外協力隊に参加するため看護師になることを決意。看護師免許取得後は県立病院で勤務した。

2010.10

青年海外協力隊、
感染症対策隊員として
東アフリカに赴任

ウガンダにあるケニア国境の町で、HIV 感染症、マラリアに関する啓発活動および医療環境改善活動に従事。

帰国後に進学した大学院（公衆衛生学研究科）の同級生が検疫官であった。元々は海外で感染症対策に従事することを念頭に置いて進学したが、同僚の話を聞いていくうちに検疫所が担う役割を知り、検疫の仕事に興味を持った。

2022.11

羽田空港検疫所
支所、主任看護師

コロナ禍当初のクルーズ船での検疫対応およびオリンピック・パラリンピック中の検疫対応に従事。

2024.4

名古屋検疫所、
検疫衛生課係長

船舶を中心とした業務に従事。航空機と船舶では対応方法や見るべきポイントが異なることも多く、悩みながらも日々新たな知見を得ている。

MESSAGE

多種多様な事案に対応できる＝毎日新しい学びのある職場

検疫所では複数の視点で物事を捉えることが重要です。体調不良者に対応する際は、症状の詳細に加え、どの国・地域に滞在し、その地域ではどのような感染症が流行していて、どこまで対応する必要があるのかという背景を理解したうえで対応することが求められます。

そのため、医療的な視点のほか、公衆衛生的視点、法的視点をもって対応する必要があります。入省時には慣れない業務に苦戦することもありましたが、背景の異なる事案に対応する際、指導者が見るべきポイントを一つひとつ丁寧に説明してくれたことで徐々に理解できるようになりました。

最前線で、同じ目的を持った仲間と共に臨む仕事

羽田空港在籍中は、コロナ対応やオリンピック・パラリンピックといった大きな行事での検疫業務に従事しました。正直なところ、楽しい記憶よりも大変だった記憶の方が多くですが、「日々報道される歴史的な出来事の前線で戦っている」という意識が、苦難を乗り越える原動力ややりがいに繋がっていたと思います。また、共に対応していた職員との支え合いがあってこそ乗り越えられたと感じています。人との関わりが好きな方、日常ではできない経験をしたい、語学を活かしたいという方にはもってこいの職場だと思います。日本の防波堤として、一緒に働きましょう！

多様な人がいるから世界は回る！

STEP UP #4



関西空港検疫所上席空港検疫看護管理官

高田 恵

どんな状況や苦難が起ころうと十分なパフォーマンスを得られるよう最高のチームワークを発揮できるような支援をし続けること、多様な看護師のニーズを満たせるよう目標の設定やキャリア支援マネジメントも大きな役割です。



MESSAGE

挑戦し続ける人生は楽しくて素晴らしい！

大学病院時代には、医療関連感染、医療安全、看護の質や教育に関わるポジションで看護道を極めつつ、子育てを。さらにどっぷり染まった感染制御学を学ぶために40代で大学院に挑戦。その後、ワクワクを求めて検疫所へ。医療現場の業務とのギャップが埋まらず悩むこともありましたが、悩んで何か変わるのか、変わらないなら発想を転換。様々な事柄にポジティブさと興味を持って挑戦し続けることで、新たな世界観を楽しめるようになりました。今どきの言葉で言えば、“多様性”を受け入れることで得るものは多く、自然と道が拓けるようになりました。

今でしょ！チャンスの神様の前髪をつかめ！

COVID-19 が、人々の生活様式や経済など世界を一変させました。水際対策でも、想定外の出来事にたくさん遭遇し必死に対応していたことを思い出します。あの団結力と粘り強さはとても素晴らしかったと今でも褒めたい。当時、出会った仲間との絆はとても強く一緒に働いたことを誇りに思い感謝もしています。入れ替わりはありますが、現場にはバックグラウンドも年代も異なる多様な仲間がたくさん働いています。ご自身がやりとげたいと思う仕事として選んでくださればきっと、新たな自分の発見と視野を広げるチャンスになるはずです。是非、一緒に働きましょう。

中高生だった子供たちの後押しで大学病院を退職、成田に単身赴任。

2020.4

成田空港検疫所
主任看護師

検疫業務で COVID-19 パンデミックを経験。



2021.4

関西空港検疫所
看護部長

後輩指導や教育的な視点をもった動きを開始。

2022.4

関西空港検疫所
看護管理官



自分らしく働ける環境があつての私。でも、毎年変わる職位に戸惑う。

2023.4

関西空港検疫所
上席空港検疫看護
管理官

関西空港で初めて上席空港検疫看護管理官に任命される。

QUESTION #1

先輩に質問！



大臣官房厚生科学課災害等危機管理対策室
国際情報係 主査

小暮 優希菜

2019 東京検疫所 羽田空港検疫所支所 検疫衛生課 入職
2023 厚生労働省健康・生活衛生局健康課 女性の健康推進室
2024 厚生労働省大臣官房厚生科学課 災害等危機管理対策室

QUESTION-1

現在の担当業務について

災害等危機管理対策室は、厚生労働省が対応すべき災害対策のとりまとめや、原因の明らかでない公衆衛生上重大な危機事案への対処を行う部署になります。その中で私は主に国際情報を扱う業務を担当しています。

具体的には健康危機情報（感染症、食中毒情報等）について、WHO や他国と WHO が策定した国際的な法的枠組みに基づいた情報交換を実施、国際的な公衆衛生の脅威に対する対応（医薬品やワクチン等開発・備蓄等、災害や感染症パンデミックに備えた訓練等）について、厚生労働省内のとりまとめを行い、他国との連携調整を行っています。



QUESTION-2

成長できたこと

検疫所勤務をしていたときも検疫法に基づいて業務を行っていたため、どのような法的根拠に基づくものなのかということに注意しながら業務を行っていましたが、現在の部署に異動になり、国際的なやりとりを行うにあたって、国際的な枠組みや規則をより深く学んでいくため、知識面で成長できているように感じています。また、WHO や他国の危機管理担当機関等と情報交換や会議を行うことが多いため、専門的な内容のやりとりを英語で行っており、専門的な文章を読む力や国際会議等公的な場に対する適応力もついてきているように感じます。

QUESTION-3 採用希望者へのメッセージ

すでにこのパンフレットをお手にとりいただいているということは、検疫所業務や看護師の病院以外での働き方、公衆衛生や国際保健に関わる職場等に少しでもご興味をお持ちなのではないかと思います。私も今はこうしてメッセージを書いています、検疫所に入職するまでは看護師、保健師の資格を生かして、広い視野で多言語に触れる職場がないかと模索していたうちの一人です。一つひとつの選択が今を作っていますが、私はあの時、検疫官採用に応募した自分を褒めてあげたいです。それくらい検疫官になって出会った職員のことを誇りに思っています。ぜひ良いタイミングに恵まれて、まだ見ぬ皆さんと一緒に働ければ嬉しいです。



QUESTION #2

先輩に質問！



在英国日本国大使館 経済班 二等書記官

田中 麻未

2014 東京検疫所 東京空港検疫所支所 検疫衛生課 入職
2016 横浜検疫所 検疫衛生課
2018 名古屋検疫所 中部空港検疫所支所 検疫衛生課
2021 厚生労働省 医薬生活衛生局 検疫所業務課
2023 現職

QUESTION-2

印象深かった業務

天皇后両陛下の英国ご訪問に関する業務に携わった事です。両陛下が国賓としてご訪英されるという歴史的な機会であり、英国政府と協力し、大使館が一体となり対応しました。私は、プレス班の一員として、宮内庁、英国政府、ご訪問先、そして報道関係者との取材機会の調整等を担当しました。両陛下のご訪英は、日英の友好関係を深める上で大きな役割を果たし、最前線でその一端を担えたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。



QUESTION-1

現在の担当業務について

在英大使館の経済班は、日本の政策立案に有益な情報の収集や関係機関との連携を強化することが主な役割であり、英国政府等との緊密な連携のもと、情報収集や調整業務を行っています。具体的には、日英の保健協力に関する覚書の締結に向けた二国間協議への参加、PHEIC が宣言されたエムボックスのような感染症発生時における英国の対応についての情報収集、企業やシンクタンク、チャリティーといった関連組織との連携と情報交換などを行っています。厚労省からの出向者として、厚労省の所掌分野を中心に幅広く対応しています。



QUESTION-3

採用希望者へのメッセージ

検疫所での看護師業務は、病院とは異なり、医療行為だけでなく事務作業など多岐にわたります。

これまでの看護師としての知識や経験を生かしつつ、幅広い視野を持って新しいことに挑戦する気持ちがあれば、検疫所での仕事は新たな成長の機会となるのではないのでしょうか。

水際対策を行う検疫所での業務だけでなく、厚生労働省や大使館などへ出向する可能性もあり、政策に携わったり国際的な視野を養ったりすることもできます。

ぜひ、皆さんの能力を生かして、検疫の現場で活躍してみませんか。



LAYOUT DIAGRAM



検疫所の組織体制

検疫所は、全国の主要な海港・空港に、本所、支所、出張所を合わせて計 112 箇所設置されています。

本所 (13 箇所)

海港 小樽 / 仙台 / 東京 / 横浜 / 新潟 / 名古屋 / 大阪 / 神戸 / 広島 / 福岡 / 那覇

空港 成田空港 / 関西空港

支所 (14 箇所)

海港 千葉 / 川崎 / 清水 / 四日市 / 門司 / 長崎 / 鹿児島

空港 千歳空港 / 仙台空港 / 羽田空港 / 中部空港 / 広島空港 / 福岡空港 / 那覇空港

出張所 (85 箇所)

海港 62 箇所

空港 23 箇所

● 本所
○ 支所
● 出張所



MEMBER OF STAFF



広島検疫所

坂出出張所



おすすめポイント

うどん！瀬戸内海！

やはりうどんでしょう。コスバよし、種類多し、満足感ありです。通勤経路から見える瀬戸大橋と瀬戸内海と夕暮れの空には癒やされます。検疫所は病院のような医療施設とは異なりますが、看護師の経験を空港や海港業務で活用でき、新たな可能性を広げることができます。

休日の過ごし方

遠出して各地の温泉に

天候は晴れが多いためハイキング（ほぼ散歩）や自転車で周辺のスーパー探索をしています。瀬戸内にはたくさんの離島もあり、島によって雰囲気が違うため離島巡りもしました。ちょっと遠出で温泉を求め隣県観光もしています。

福岡検疫所

福岡空港検疫所支所



おすすめポイント

都市型空港で利便性◎

福岡空港は市街地から近く、広域との優れたアクセス（鉄道・高速道路）を有し、都市型空港として高い利便性を備えています。職場は海外や病院等で様々な経験値を積み上げた看護師が集まり、感染症への対策を日々考えて業務を遂行しています。

休日の過ごし方

家族で出かけます

休日は家族で出かけることが多く、水族館等の近隣のレジャー施設で楽しんでいます。シフト勤務のため、平日に時間を作りやすいことも気に入っています。趣味（マラソン）で大会に出場する際は休暇の調整も柔軟に対応していただける職場です。

那覇検疫所

那覇空港検疫所支所



おすすめポイント

とにかく景色がいい！

職場が空港なのでとても景色が良いです。天気の良い日は、絵はがきのような青い海と空の素晴らしい景色に出会えます。また、空港からゆいレールで約15分のところに有名な観光地の国際通りがあります。少し路地に入ると、ゆったりと過ごせる居心地の良いお店に出会えるのがおすすめポイントです。

休日の過ごし方

ゆったりと過ごす

沖縄には様々なアクティビティがあります。夏はマリンスポーツ、冬は温暖なので、マラソンや山登りなど各地でイベントが盛んです。また、海に入らなくても綺麗な海を眺めたり、海辺でコーヒーを片手に読書をしたりとゆっくりとした休日を過ごしています。

SYSTEM 福利厚生・研修制度

福利厚生について

年次休暇

1年間で最大20日間の休暇が取得可能です。
(時間単位での取得も可能) また、休暇は最大20日間を次の年へ繰り越すことができます。

夏季休暇

7月から9月まで連続する3日間の休暇を取得することができます。厚生労働省では、年次休暇2日間と続けて連続する5日間の休暇取得を推奨しています。

育児休業・介護休暇等

育児や介護を行う職員のための支援制度が多数存在し、積極的に取得するよう推進しています。男性職員の育児休業を取得する割合も増加しています。

住居手当

民間の賃貸住宅に居住している場合に、家賃額に応じて月最大28,000円支給されます。また、全国に存在する国家公務員の宿舎に入居できる場合もあります。

地域手当

地域における物価などが考慮され、基本給に乗ぜられる加算割合が地域ごとに異なっています。

研修制度

検疫所では、検疫官としての資質や能力を養うための研修制度が充実しています。また、業務については、業務の実践と知識の確認を行うチェックシートを活用し、上司や先輩のフォローを受けながら一人前の検疫官として日々成長することができます。

職場内研修

職場内指導及び訓練を一定の水準で実施。
●基本的な感染予防、防止策の講義と実践 ●ワクチンの講義と事例検討 ●防護服着脱訓練 等

全国研修

経験年数に応じて5つの階層に分類。階層別に期待される目標に応じた研修で知識や思考を養成。

初任者研修

入省後～6ヵ月未満

STEP1

検疫所で勤務する新任職員として、職務遂行に必要な基本的知識等を学ぶ。

初任者フォローアップ研修

6ヵ月～1年目

STEP2

若手検疫官として関係法令等に基づき業務を行っていることを再認識。職責の自覚や方向性を明確にできる思考を養い、自立して職務に取り組むことができるようになる。

検疫官指導者初級研修

入省後3年以上かつ30～40歳代で所属長が適当と認めた者

STEP3

若手職員として関係法令を理解し、後輩への指導及び手本となる行動ができ、更に問題解決及び関係機関との調整などに関するサポートができるようになる。

検疫官指導者中級研修

入省後5年以上かつ30～40歳代で所属長が適当と認めた者

STEP4

将来検疫行政の中核となるよう、職務遂行に必要な関係法令の運用等に関する知識を深め、感染症に関する行政的視野の拡大及び識見の充実に回り、併せて各検疫官の相互理解と信頼関係の維持・促進する。

検疫官指導者上級研修

入省後7年以上かつ40歳以上で所属長が適当と認めた者

STEP5

検疫行政の中核として、職務遂行に必要な関係法令及び通知を再認識するとともに、問題を分析して的確な対応及び問題解決に向けた指示・指導ができるようになる。併せて検疫所間の相互理解と信頼関係の維持・促進する。

その他、厚生労働省本省や人事院等が主催する研修や感染症に特化した外部機関の研修もあります。

RECRUITMENT 採用について

採用 Q&A

Q. 引越しを伴う全国転勤はありますか？

A. 定期的にあります。

希望や適正等を考慮し決定します

本人の希望や適正、その時期の人員配置等を踏まえ、初任地から引越しを伴う場合があります。また、入職後は約2年の周期で所内での部署異動、引越しを伴う他所への異動、検疫所外である厚生労働省本省等への出向を重ね、その地や役職によって異なる業務を経ながらスキルアップしていきます。また、異動については定期的な配属地希望調査も行っております。

Q. 英語力は必要ですか？

A. 必須ではありません。

場面に応じて翻訳機等も使用します

英語力があるに越したことはないですが、必須ではありません。採用時に英語力がなくても、その後の自学自習等で業務に活用している職員もおります。また、英語圏以外にも様々な言語の方と接するため翻訳機を使用する等して業務を行っています。

Q. 看護師としてのブランクがありますが大丈夫ですか？

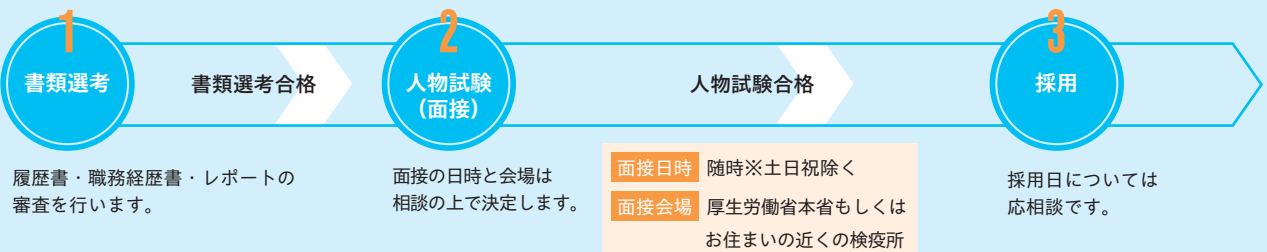
A. 大丈夫です!!

業務を一から習得できます

検疫官(看護師)の職種は、新規採用を募集しておらず全ての方が中途採用になることから、これまでの経歴は皆様々です。検疫官として働くというのは、誰しもが初めてのことで、育児や介護等で一度看護師職から離れた方でも安心して始めることができます。臨床経験3年以上(※下記参照)を満たしていれば応募可能で、入職後は研修や上司・先輩からのサポートにより一から業務を習得することができます。また給与についても法律に基づいた上でこれまでの経歴が加味され、一人ひとり決定されます。

採用の流れ

検疫官(看護師)は採用を随時募集しています。詳細については、厚生労働省HPの検疫所採用情報をご確認いただくか、採用担当者の問い合わせ先(裏表紙)にご連絡ください。



応募資格	●日本国籍を有する方 ●看護師免許を取得している方 ●応募時点で、看護師として3年以上の臨床経験(医療機関勤務)のある方 ※准看護師としての経験は含まれません ●普通自動車免許を取得している方※業務上、普通自動車を運転する場合あり
応募書類	●履歴書(写真貼付) ●職務経歴書 ●看護師免許証(写) ●レポート(横書き1,200字程度)